

水辺のふるさと かつしか 冬号

2019.9-11

自然環境レポーター(通)信



写真のタイトル：ツグミ

撮影場所：水元公園のメタセコイヤのてっぺん 写真提供：高橋 雅子さん

目次

- 1 55種の動植物調査結果 P 2
- 2 冬号イチオシの生きもの! P 3
- 3 自由レポート P 4 ~ 19
- 4 季節の写真集 P 20 ~ 22
- 5 魚からの便り P 23 ~ 26
- 6 環境課からのお知らせ P 27 ~ 28

編集担当のひとこと



今年もあと残すところ僅かとなりました。令和元年も終わりですね。

年末といえば、大掃除、紅白歌合戦、年越しそば、除夜の鐘…

私が子どもの頃には、紅白歌合戦が終わる前に母が年越しそばを作り、家族で食べた思い出があります。子どもながらに、夜更かしをして遅い時間に食べても怒られない嬉しい時間でした。なるべく切らずに食べると長生き出来ると親に言われ、一気にすすっていた記憶があります。現在は、夕食に食べていますが…(笑)

Wikipediaで調べてみると、蕎麦は細く長いことから延命・長寿を願ったものであるとする説。蕎麦が切れやすいことから、今年一年の災厄を断ち切るという説。「蕎麦(そば)」と「側(そば)」とを掛け、一年の締めくくりである大晦日に家族で蕎麦と共に食卓を囲むことで「来年もソバにしよう」という意味を込めたものとされる説など記載されていました。

2020年はオリンピックの年でもあります。どのような年になるのか楽しみです。レポーターの皆さまには、今年も大変お世話になりました。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。



よいお年をお迎えください。

丸山

55種の動植物 調査結果(9月~11月)

【調査区1】計4種

〈鳥類〉 シジウカラ 〈昆虫〉 ナミアゲハ、**アカボシゴマダラ** 〈植物〉 アカメガシワ

【調査区2】計25種

〈鳥類〉 コガモ、コサギ

〈昆虫〉 アキアカネ、オオカマキリ、エンマコオロギ、カンタン、トノサマバッタ、アブラゼミ、
ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、クロアゲハ、ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン、
アカボシゴマダラ

〈植物〉 スギナ、**ナガミヒナゲシ**、**シロツメクサ**、スズメノエンドウ、**イモカタバミ**、オオバコ、
ツユクサ、**ジュズダマ**、ススキ

〈クモ類〉 ジョロウグモ 〈底生動物〉 ベンケイガニ

【調査区3】計22種

〈鳥類〉 ツバメ、シジウカラ

〈昆虫〉 アキアカネ、オオカマキリ、
エンマコオロギ、カンタン、
トノサマバッタ、クロアゲハ、
ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン

〈植物〉 アカメガシワ、スギナ、**シロツメクサ**、
イモカタバミ、**アレチウリ**、セリ、
ツユクサ、**ジュズダマ**、ススキ

〈爬虫類〉 **ミシシビアカミミガメ**、

〈クモ類〉 ジョロウグモ

〈底生動物〉 ベンケイガニ

【調査区4】計19種

〈鳥類〉 コガモ、シジウカラ、

〈昆虫〉 アキアカネ、エンマコオロギ、
トノサマバッタ、アブラゼミ、
ツクツクボウシ、クロアゲハ、
ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン

〈植物〉 アカメガシワ、スギナ、**イモカタバミ**、
オオバコ、カントウヨメナ、ツユクサ、
ジュズダマ

〈爬虫類〉 ニホンアマガエル

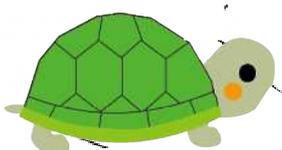
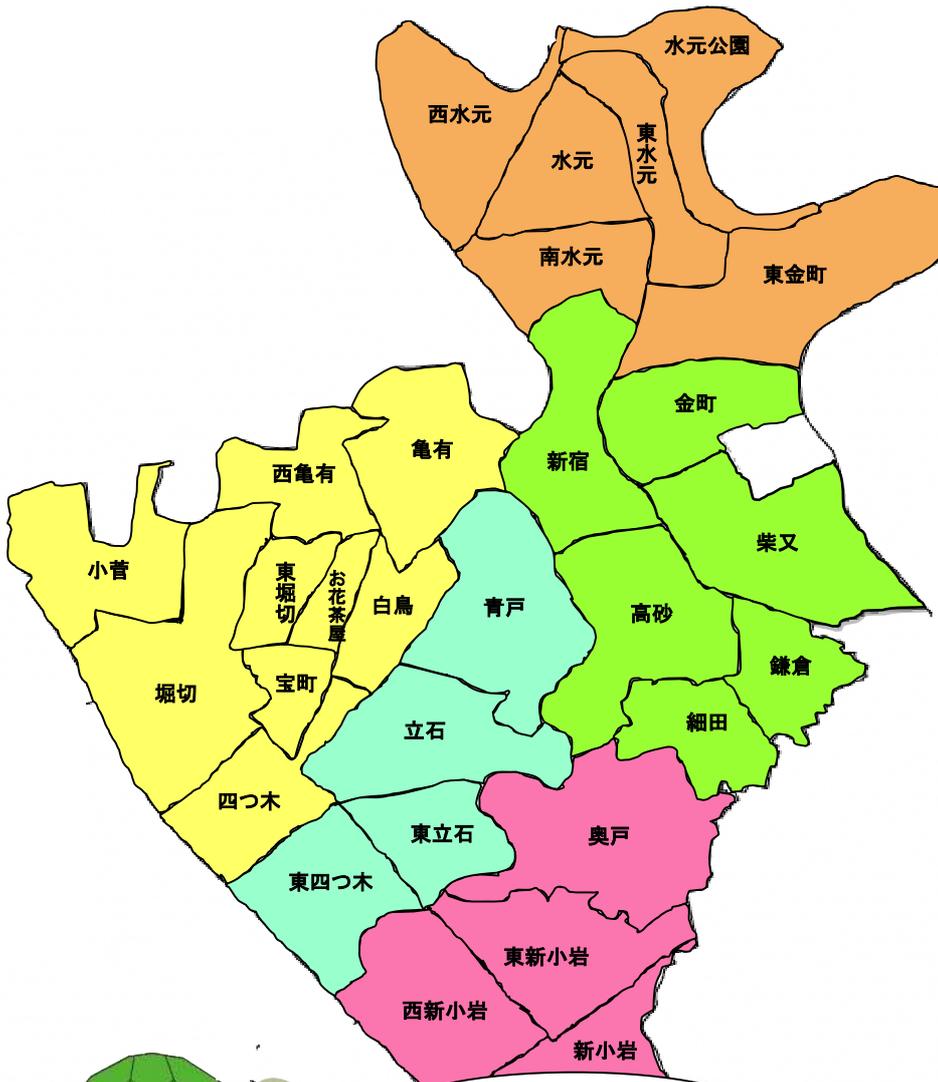
〈クモ類〉 ジョロウグモ

【調査区5】計6種

〈鳥類〉 カワセミ

〈昆虫〉 エンマコオロギ、クマゼミ、
アブラゼミ、ミンミンゼミ

〈植物〉 ツユクサ



赤字は外来種だよ

レポートが見つけた

冬号イチオシの生きもの！

ノアサガオ（オーシャンブルー）

沖縄県原産で、同県では低地の森林や藪にごく普通に分布する野生種である。多年生・宿根性で、関東以南では越冬して成長し古い茎はやや木質化する。ノアサガオの園芸品種が「琉球アサガオ」「オーシャンブルー」「宿根アサガオ」など多くの異なる名称で販売されている。…（中略）葉もアサガオより大きく、掌大のハート形で、花は多数が房咲きし壮観である。時刻と気温によって花の色が変化し、早朝は青く昼は紫になる。結実しにくいので挿し木で繁殖させるが、夏から秋に古い蔓を 30cm ほどに切って浅く植えると簡単に根付き、繁殖は容易である。暖地なら露地でも越冬するが、0℃以下だと株が凍死するので鉢上げして室内に取り込む。

Wikipedia より引用



上記の写真は、弥生さくら草さんが自宅で撮影されたオーシャンブルー（ノアサガオの一種）です。11月に咲く朝顔なんて珍しいですね。とても綺麗な色で、色の変化も楽しめます。

台風19号

弥生さくら草

10月12日から13日にかけての台風の恐ろしさは今まで経験したことが無い程凄まじいものだった。ごく最近房総半島を襲った台風で住民の皆様は辛苦から未だに解放されていないことを見聞しているのも、いつもは軽く考えるのが、この度ばかりは呑気にしてられない。この度は最大級の台風という報道だ。先ず飲料水、食料、薬など、大事な品物をまとめた。我が家は一階住まいである。もし中川が氾濫すると階下の半分は水中に没する予想だ…。

最悪の場面にならないようにと祈りつつ準備を進めた。昭和22年のキャサリン台風の時は傍らの中川が決壊してこの辺の家は殆ど水中に沈んだ経歴があると夫から聞かされてきた。そのころ私は葛飾区民では無かった。日暮れが迫るころ広報塔が避難を勧め、その選択に迷ったが高齢で病人の夫を抱えての避難は大変だと思い、いざという時は同じ階上の娘夫婦のところへ行くことに決断。

日が落ちると強風は家を揺さぶるように吹いた。悲鳴のようにきしむ音に生きた心地がしない。雨の音も弾丸が飛ぶようである。これほどの台風は初めてだった。早朝外へ出たら雨は止んで木の葉や枝が散乱、重い物置が動き、立木が曲がった。まあこの程度で終わって良かったと安堵したのだが…。

テレビを見たら被害の重大さに驚き絶句。河川の氾濫が続き、住民は助けを求めている。新幹線車両も水没している。何しろ降った雨の量は一年分を一夜で降ったことになる。捌け切れない水量がダムから、堤防から溢れて人家を脅かしている。恐ろしい光景である。

葛飾区は23区内で一番川が多いそうである。川岸の堤は四季折々の景色を愛で、散策には好いが、いざ嵐の時は危険である。来年は東京オリンピックが開催予定である。それ以上に大切なのは日々を安心して暮らせる防災である。地震、台風など、昔は忘れた頃と言ったけれども今では招かざる客は忘れないうちにやって来る。

令和1年10月14日

秋景色

弥生さくら草



秋は素敵な季節で、情緒に富んでいる。日を追うごとに移り変わってゆく錦絵のような自然美を愛でるには好い季節である。木々の葉が紅、黄葉と錦色に染めて散っていく様は美しいけれど寂しさを感じ、我が身に比べるようで昔はともかく今では物哀しい。だから春と秋を比べるとどうしても春の方に軍配を上げてしまう。今年はいつまでも残暑が長かった。急激に気温が下がった今年の秋景色は更に美しいという……。

11月も半ばを過ぎると、木々の梢に在った柿の実も今はない。木枯らしが吹き始めた。そんなある日毎日水遣りを欠かさず育てていた朝顔が一輪、一年ぶりに咲いた。群青色である。名前を調べたらオーシャンブルーというそうだ。そして夕方になると赤みを帯びる。何しろ一年中咲いていると聞いて珍しい存在だと思っていた。興味をもった発端は家の近くを歩いていた時、道端の垣根に茂っていたこの花の葉を一葉いただいてきて家で挿した。以前この種類は通年中咲くと聞いていたから当てにもしないで手許で観察していた。僅か一葉であるし、冬に向かったから無理もない。それでも翌年の春には

根付いて芽を出してから蔓を伸ばし、棹に絡まり始めたから……、もしや?と思ったが、とうとう夏には咲かなかった。それが11月になると突然、一輪、蕾がついた。だから宝くじにでも当選したような気分である。そうして今朝開花である。夏の頃には時折見かける不思議な朝顔である。時の経過につれて花卉の裏が少しずつ桃色に染まっていく不思議な朝顔に魅せられた。普通の朝顔は咲いた翌日には萎むという儂い命である。それが数日間も咲き続けるという異常さにも驚く。

我が家には義母が丹精していた花にカニサボテンがある。もう亡くなって30年の月日が経っているから花も化石に近い。夏の頃には盛りだった花の類を冬越しのために暖かい場所に移した折にこれらが目についた。蕾が沢山ついていたので……。何年経っても大きくならないし、植え替えたのは数えるほどだ。それでも律義に咲いているのを見て花の好きだった義母を思い出した。早速鉢を洗い居間中のガラス越しで日当たりに良い場所に移した。暫くは咲いている筈である。花が終わり春になったら、植え替えようか。(^ ω ^)・・・。

令和1年11月26日

朝顔は咲いてから数日経ってもまだ充分美しいし、最初の群青色より殆ど薄紅色に近づいている。

氏名	散歩花子	町名	東新小岩	調査区	1
			東四ツ木		2

タイトル: 秋の道草.

10/26. リュウゼツラン科の
 属名「ユッカ」の
 花が鈴なりに咲いて
 います。シヤンシヤンと
 鈴の音でも聞こえて
 きそう。でも下の葉の
 突先は固く鋭く、
 うっかりさわると皮膚を
 通すほど、けがをします。
 (東新小岩)



10/2 東四ツ木

「水辺のふれあいルーム通信

9月20日号」で紹介されていた

キンエノコロが、こにも

ありました。

11月に入ると、全部刈られて

たぶんありませんでした。

雑草だって美しいのに...

氏名	散歩花子	町名	荒川土手 東四ッ木	調査区	2
----	------	----	--------------	-----	---

タイトル: 秋の道草

10/23.

秋の婚活?

暖かな秋日和の午後

荒川土手の草むらには、

婚活に参加した蝶たちが

群れて、忙しく、お相手を

捜しています。

上の白っぽいのは ツバメシジミ

下のオレンジのはベニシジミ、

蝶の世界には、ハーフは

いないのが、疑問になります。



11/3

荒川土手の草むらの

片みに キンギョソウが

咲いていました。

どこから種が運ばれた

のか、プランターなどで

栽培されていますか、

野生的なキンギョソウに

びっくりです。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2019年9月14日

3R について (リデュース・リユース・リサイクル)

環境用語として、3R (リデュース・リユース・リサイクル) という言葉があります。よく分かっていないので調べました。

2000年に循環型環境基本法において3Rの考え方が導入されたそうです。

言葉の意味としては

① Reduce

リデュース : 減らす

② Reuse

リユース : 繰り返し使う

③ Recycle

リサイクル : 再資源化する

で、特に重要だと思ったのが、1. リデュース (ごみの発生抑制)、2. リユース (再使用)、3. リサイクル (ごみの再生利用) の優先順位で廃棄物の削減に努めるのが良いとされていることです。

一般的に日本語ではリユースの中古品と再資源化の2つを合わせて「リサイクル」とひとくくりにして使われることが多いと思います。環境に良いこと＝「リサイクル」と認知されていることが多く、リデュース (ごみの発生抑制) という言葉が取り上げられる機会は多くなく、どこかで聞いたような気はするのですがはっきりとは知りませんでした。また、発生抑制をしすぎると景気が落ちてしまうからあまり積極的になれないのでは?と思いますが、リサイクルは積極的でしたし、リユースの中古品市場は活況をていしていて実行されていると感じています。

この頃は「リデュース (ごみの発生抑制)」という言葉自体はあまり使われていませんが、「使い捨てプラスチックの減量」や「レジ袋の有料化」、「食品ロス問題」など個別の具体的対策として「リデュース」が実行されていて、より優先順位通りに取り組みが行われつつあると感じます。

私が冗談半分に日本語に訳すと、①リデュース：もったいないから節約 ②リユース：おさがり ③リサイクル：いらぬモノでなんか作ろう になってしまいます。

参考文献

3R「ウィキペディア (Wikipedia): フリー百科事典」

最終更新 2019年1月10日 (木) 09:04

お年寄りの勘が当たっていた話

温暖化問題がニュースなどで報じられています。自分も含めてほとんどの方があまり実感がないと思うのですが、参考資料1*に東京の温暖化について書かれていて、気になったので書きます。

その資料は気象庁のデータをもとに書かれていてそのデータも確認したのですが、その資料によると「東京では都市化に伴いこの100年間で約3°C年平均気温が上昇した」とあり、それは気象庁のホームページ（参考資料2*）に基づくものでした。

これからどのくらいの温暖化が起こるかの予想は IPCC（気候変動に関する政府間パネル）で発表していますが、前の100年に既に温暖化が起こっていて普通だと思って生活してきたらしいです。

お年寄りに聞くと、「昔は洗濯物を冬に干すと凍って固まってカチカチになり、指で押すと物干しざおで固まったままプラプラした」と言っていて、「暖かくなっていると思っていた。」と言っていたので、報道で言われる前から知っていたらしいです。

もう既に温暖化を経験していて、それほど問題も起きていると感じずに、これからも気温が上がっていく日常が続いていくということかなあと思います。

参考文献

- 参考資料1* 新・公害防止の技術と法規2019大気編
一般社団法人 産業環境管理協会
2019年2月10日 発行
- 参考資料2* 気象庁ホームページ,
http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/himr_faq/04/qa.html

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2019年11月2日

3R ②（今はもう4Rや5Rらしい）

3R（リデュース・リユース・リサイクル）について9月に書きましたが、今はもう4Rや5Rになっているらしいので追加で書きます。今回も子供向けの環境についての本で知りました。子供向けの環境の本はわかりやすく簡潔にまとまっていて便利です。

4Rはヨーロッパやアメリカで使われていて

- ② Reduce リデュース : 減らす
- ③ Reuse リユース : 繰り返し使う
- ④ Recycle リサイクル : 再資源化する

の前に

- ① Refuse リフューズ : 拒否する

が追加されています。前なのは Reduce より優先だからだそうです。「ゴミを大幅に削減することに成功しているといわれています。」とのこと。

5Rでは、⑤Repair リペア : 修理する が追加されています。

他に Responsible（責任を負う）、Rethink（考え直す）などの例が出ていました。

個人的には Rethink（考え直す）を2回ぐらいすると家にあるものでなんとかなることがあります。Refuse（拒否する）をはっきりできることは少なく、こういった子供向けの本やニュースなどを見ながら Refuse（拒否する）出来る物はこれかなあと検討している状況です。

私の場合、一度買った物でも他に少しでも性能が良かったり便利になっていたりするとつい買ってしまったりすることがあり、その物を買うことで生活が良くなって進歩している様な気になって満足してしまうことがあるので、買ったその物の寿命が尽きるまで、今ある物に満足し感謝することが必要かもしれません。

参考文献

ゴミと人類 過去・現在・未来 ②

2016年12月30日初版 株式会社あすなろ書房

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

9月1日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は28度くらい。都立水元公園の水辺のいきもの館周辺。野鳥は、カワセミ(1)、カルガモ(2)、オナガ(3)などを見つけた。昆虫は、シオカラトンボ、ウチワヤンマ、コフキトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、シロテンハナムグリ(2)、ジャコウアゲハ(1)、ヒメアカタテハ(1)、キアゲハ(1)、ハラオカメコオロギ、エンマコオロギ、ヤマトシジミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミ(3)、ツクツクボウシなどを見つけた。植物は、カタバミ、ツユクサ、ワルナスビ、ヘクソカズラ、ヨシ、アキノエノコログサ、ヒメガマなどを見つけた。

同日、正午頃、天気は曇り(風なし)、気温は30度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。昆虫は、ツマグロヒョウモン(1)、キイロスズメバチ(1)、アブラゼミを見つけた。植物は、エノコログサ、メヒシバを見つけた。

9月13日(金)午後8時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は22度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。昆虫は、カネタタキ、ツヅレサセコオロギ、ハラオカメコオロギ、アオマツムシを見つけた。

9月20日(金)午前11時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は24度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメを見つけた。昆虫は、カネタタキ、ハラオカメコオロギ、ヤマトシジミを見つけた。植物は、カタバミ、オヒシバ、メヒシバ、アキノエノコログサを見つけた。

9月22日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は22度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリを見つけた。昆虫は、キチョウ(2)、ヤマトシジミ、ハラオカメコオロギ、カネタタキ、ツヅレサセコオロギ、エンマコオロギを見つけた。植物は、シロツメクサ、ムラサキツメクサ、ツユクサ、シマスズメノヒエ、エノコログサ、アキノエノコログサ、キンエノコロ、メヒシバ、オヒシバ、カタバミ、ヨシを発見した。アベリアの花が咲き、オニグルミの青い実がなっていた。

9月29日(日)午前9時頃、天気は曇り(風少し有)、気温は23度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ムクドリを見つけた。昆虫は、ヤマトシジミ、カネタタキ、ツヅレサセコオロギ、ハラオカメコオロギを見つけた。植物は、ヒガンバナやアベリアの花が咲き、シラカシの青い実がなっていた。

9月7日(土)～8日(日)1泊2日で、名古屋市へ行って来た。名古屋市は2010年、COP10が開催された都市であり、国連生物多様性の10年(2010～2020)を発表されたまちだ。1日目は、昨年、名古屋環境大学の講師で、招待をうけた市民活動家を訪ねた。『名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち』の代表的に活動する小学校教諭にお会いした。その小学校の先生の

レクチャーを受け、名古屋城外堀を歩いた。外堀は、以前名鉄瀬戸線が走っていたところで、当時駅員の竹内重信氏が3万匹のヒメボタルを発見し、竹内氏と「小学校の先生と教え子たち」の交流から、『受け継ぐ者たち』が発足した。小学校の先生は社会科と音楽を得意とする教師であり、竹内氏の思いを子どもたちへ伝えようと懸命になって活動した結果、名古屋市を動かし、博物館の学芸員などを巻き込み、開発から守り続けることができた。市民活動の手本になる保護活動であり、私共 ESD-KA の活動に勇気をもたらした。夜は、東京・品川時代の教え子の家を訪ねて、当時の懐かしい思い出を語りつくした。2日目は、台風15号が関東に接近したため、予定を変更し、午前発の新幹線で東京へ帰ってきた。この台風は、9日未明に千葉市あたり上陸し、関東周辺に惨事が起きた。とくに、千葉県は木が倒れ、電柱も被害を受け、1ヶ月近く停電から復旧できないという災害となった。これを受けて、都内の電線を地下に埋める工事も加速しそうだ。(ロンドンでは地下ケーブルが100パーセント)

9月も、環境イベントに参加した。28日(土)、北区立としま若葉小学校で、北区環境展が開催された。午前中は、としま若葉小の児童たちが展示や自然観察の区民講師に案内され、授業としての環境学習会だった。それを見守る保護者の方々も体験イベントに参加して、親子ともに笑顔の生涯学習となった。午後は、他校の小学生や区民、学びに火がついた若葉小の児童が体験活動に参加していた。とくに、ドングリを使った「やじろべえ作り」にはまった児童がおり、3つも作ったと言っていた。学校と地域が一体となったイベントが、学校を会場にして行う意義あるイベントであると感じた。また、私もこの学校にあるピオトープの観察会に参加して、児童の真剣さに感動した。(9月29日)

10月14日(月、祝)午前9時頃、天気は曇り(風なし)、気温18度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。野鳥は、オナガ(3)、ムクドリ、スズメを見つけた。昆虫は、カネタタキ、アオマツムシを見つけた。植物は、エノコログサ、アキノエノコログサを見つけた。キンモクセイの花の香りが街中に匂い、ハナミズキの赤い実が目を楽しむことができた。

10月26日(日)午後2時頃、天気は晴れ(風あり)、気温23度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、ムクドリ、ハクセキレイ(1)、キジバト(1)、スズメを見つけた。昆虫は、モンキチョウ(2)、ヤマトシジミ(5)、ヒメアカタテハ(1)、カネタタキ、エンマコオロギを見つけた。植物は、カタバミ、ヨシ、キンエノコロ、アキノエノコログサ、チカラシバ、セイタカアワダチソウ、ススキを見つけた。キンモクセイの花やカキノキの実が見ることができた。コナラやマテバシイのドングリが落ち葉の上にあった。

10月は前半は真夏のように暑く、後半は秋が急いすすんでいった。10

月も災害が多かった。台風19号が12日(土)と13日(日)に、東海・関東甲信越から東北へかけて通過した。10月13日の産経新聞では、1面トップに、「台風直撃 氾濫相次ぐ 12都道府県 大雨特別警報」という見出しがあった。10月16日の1面では、「台風死者73人、52河川決壊」という見出しであった。「国土交通省によると、決壊した堤防は7県の52河川73カ所に上がり、・・・道路陥没により一部集落が孤立、被害の全容はなお見通せない」と記事で伝えていた。10月18日の3面には、「台風19号に伴う記録的な大雨に見舞われた福島県と宮城県では、阿武隈川が41カ所で連続的に決壊した。南から北へと向かう川の流れは台風の進路と平行しており、豪雨により全域の水かさが持続的に急増。支流の水が本流との合流地点で行き場を失い、逆流してあふれ出す『バックウオーター現象』が多発して、次々と堤防を決壊していった可能性がある」と報じていた。10月20日の1面には、「台風19号で、河川の水位を下げるために水をため、下流の東京近郊などで氾濫しないように建設された各地の大規模な『調節池』や『遊水地』が、総貯留量の9割に達していたことが、各河川事務所などへの取材で分かった。長野県や福島県などで大規模氾濫が発生する一方、東京近郊は回避できたとされてきたが、実際には目前に危機が迫っていたことが判明した」と報じていた。10月19日の産経新聞では、「ハザードマップと浸水域一致 予想的確 生かしきれず」という見出しもあった。10月29日の社会面に、「農林水産省は28日、台風19号による農林水産関係の被害額が同日午前6時の時点で1223億8千万円まで拡大したと発表した。被害額はさらに拡大する見通し。9月の台風15号でも千葉や茨城など12都県で509億2千万円の被害があり、台風19号と合わせて1700億円を超えた。農水省は千葉などで浸水被害をもたらした台風21号の被害調査も進める」と報じていた。(11月1日)

11月16日(土)午前11時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は15度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメを見つけた。昆虫は、ヤマトシジミ(5)を見つけた。植物は、アキノノグシ、イモカタバミを見つけた。ヒイラギの花が咲き始め、サザンカの花やネズミモチの実がなっていた。カツラやケヤキが赤茶色に紅葉した。サクラやハナミズキの葉が散り始めた。

11月24日(日)午前10時頃、天気は小雨(風少し有)、気温は17度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。野鳥は、ヒヨドリ、スズメを見つけた。植物は、イチョウが色づき、サクラやハナミズキは、落ち葉となった。

私たちが、SDGsの実践を通じて、温暖化防止に向けて頑張っていきたいと思う。(11月24日)

今年の夏に近所で会った虫についての報告です。

ハグロトンボ（2019年6月16日@金蓮院前）

金蓮院から優しくナヨナヨと飛んできた。四翅が黒色で最初はチョウトンボかと思ったが違った。虫専門のN先生に伺うと、江戸川の上流からヤゴが流れてきて、この辺で成虫になることもあるらしい。

ノコギリクワガタ（2019年6月28日22時頃@東金町3-6）

水戸街道沿いの歩道をノソノソと歩いていた。籠抜けにはしては時期的に早すぎるし、千葉大の松戸キャンパスからきたのかな？と、N先生と話しをした。

キボシカミキリ（2019年6月28日22時頃@東金町6-21）

民家の真っ白な壁に止まっていた。見つけた個体はつや消しブラックに薄い黄色の斑点。同じ黒色でも、ゴマダラのメタリックブラックとは対照的。両方とも個人的には好きな虫。

カブトムシ（2019年7月20日@水元公園）

見つけた時の高揚感は、昔の子も今の子も変わらないと思う。最近の水元公園のくぬぎの樹液で普通に見られる。

ウスバカミキリ（2019年7月20日@水元公園）

柳に3頭がまとまっていた。大きさは5~6cm程あるが、翅が薄く弱そうに感じる。

クロカナブン（2019年7月27日@東金町7-2）

天日干しをしていた昆虫マットにいた。水元公園にいるハナムグリやカナブンよりひとまわり大きく、黒色の光沢が特に綺麗な個体だった。

キバラヘリカメムシ（2019年8月3日@水元公園）

ニシキギ科のマユミに成虫と幼虫が沢山いた。幼虫は前翅が短く黄色がよく目立つ。成虫は前翅がしっかりと生え、上から見ると黒いが体のヘリが黄色と黒色をしている。下から見ると腹部は綺麗な黄色、そして脚は白と黒のツートンカラー。さらには触覚の先端が赤と、とてもカラフルなカメムシ。

コフキコガネ*残念ながら息絶えていた（2019年8月3日@水元公園）

15年位前は残業帰りによく捕まえて子供に持って帰った。最近は見かけず久しぶりの出会い。明るさはない虫だが、セピア色のボディと子供に捕って帰った昔と重なりノスタルジックな気分になる。

2020年も自然環境レポーター活動を通じて、色々な虫と出会える年になれば嬉しい。



自然観察レポート 9・10・11月の巻 調査区5 佐々木定治

秋の趣こそ此処にあり



9/25 カマキリ↑



9/25 ゲンノショウコ↑



9/26 ホトトギス→

10/31 ヤツデ↓



10/31 テントウムシ↓



COP25が12月2日スペイン・マドリードで開幕しました。温暖化が深刻になっている中での開幕で、会期は13日までです。地球の気温は産業革命前から既に1度上昇し、猛暑・豪雨・干ばつといった異常気象に伴い生態系の変化が顕在化しています。

私は自然環境レポートをするたびに、「この自然と来年もこの季節に出くわすことができるのだろうか？」と有る意味での不安をと疑念の中に、祈りを込めての観察撮影をしています。

今年の災害は日本全国を苦しめ続けました。COP25でも今年の日本の災害は、世界でも類を見ない大災害であったと断定しています。この場所で、この季節にまた来年もその次の年もこの自然に出会うことができるように、たったひとつの地球を大切にしていける決意と実践力を世界中に広めたいものです。

秋の虫に冬桜を添えて



11/6 カマキリ ↑

11/25 ススキ ↓



11/25 セスジツユムシ ↑

11/25 ベニシジミ ↓



11/25 フユザクラ 水元入谷公園 ↓

地球温暖化が進むことにより、多くの生物が気候変動に対応出来ずに生物多様性が低下すると言われていています。植物の生息域も減少することが予測されています。増大する二酸化炭素を削減しても今、世紀末には気温が3度も上がり、益々深刻な被害が生じるのです。

このような状況下、スウェーデンの少女グレタ・トゥーンベリさん（16歳）をはじめ、世界で若者が動き始めています。

秋号の水元の観察をしつつこの自然がここに未来永劫に在りますようにと、改めて願っています。



氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫) 鳥類は大橋周囲～小合溜					
種類	令和元年 9月～11月の3か月の数値(タンポポや野鳥は数値表示)				

種類	9月	10月	11月	種類	9月	10月	11月
西洋タンポポ	0	6	11	クロアゲハ	0	1	0
関東タンポポ	0	0	0	シジミ蝶	15	25	30
シロツメ	多	多	15	アゲハ蝶	1	1	0
カントウヨメナ	多	多	0	モンシロ蝶	0	2	5
つゆ草	多	多	0	アオサギ	1	1	1
ユリカモメ	0	0	30	中サギ	0	0	0
カモ類	0	133	約 300	コサギ	0	1	0

植物情報

気温の変化が 10 度もある日が続いた。それは花咲にも影響なのか、身近なところで2度咲きの花を昨年より多く観察した。写真は①～⑤

- ①春の椿は赤色で雪とマッチ、11月にはピンク色、辞書には秋椿の掲載はない
- ② 桜の一種で春は赤色、九月下旬は数個だが白色が咲く
- ③ 終わったはずのあじさいが二度咲き
- ④ 公園のトイレ近くで白つつじが数個咲いていた

観察地の西洋タンポポが年間「0」の月は数年なかったが、昨年からは9月の0が続く
植物の変化は昆虫に影響を与えているのか、蝶類がバラバラの数値だった。



台風の影響で木が倒れ、10月の観察日は公園の一部で新しい切り株5個以上。



野鳥情報

観察地では、コサギがみられず、アオサギが1羽程度しかいない。

①10月の観察日は、小合溜周囲にカモ類が帰ってきた。種類はほぼ2種類程度？
つりのおじさん複数に「ユリカモメはいますか」と聞くと「今年はまだ見ないね」だった。
昨年と今年は11月からだった。

カモ類		9月	10月	11月
	昭和30年	10	20	200
令和元年	0	133	300以上	

野鳥の観察数値は数とり器使用だがあまり正確でない

② 数組の保育園児の散歩中で、泣いている児もいたが、先生が「みて、みて、カモちゃんが遠足をしているわよ」と声をかけると、小さな子供たちが乗り物から身を乗り出し楽しんでた。お天気がいいので、釣り人が多数いた。「ユリカモメを何時見たか？」と「コサギは？」を質問したが「つりに夢中でよくわからない」という返事だった。



季節の写真集 (9月～11月)



「エノキ」

9/1 場所：区北東部
名前：石鍋 壽一さん



「キンクロハジロ」

11/9 場所：区北東部
名前：石鍋 壽一さん



「イヌキクイモ」

10/19 場所：区北東部
名前：石鍋 壽一さん



「カマキリ」 9/25 場所：水元3丁目
名前：佐々木 定治さん



「アジサイ開花」
11/26 場所：西亀有
名前：RYUさん



「理科大前」
11/27 場所：新宿
名前：Rさん



「綿みたい」
10/24 場所：清和小
名前：RYUさん



「これ何の実？」
10/3 場所：清和小
名前：Rさん

「白曼珠沙華」

9/27

場所：東堀切

名前：Rさん



「サクラ咲く」

9/26 場所：お花茶屋

名前：RYUさん



「ツグミ」

場所：水元公園のメタセコイヤのてっぺん

名前：高橋 雅子さん



「あさがお」(レポート「秋景色」)

場所：自宅 名前：弥生さくら草さん

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-266

調査回数 調査日 地点		268			備 考
		2019/9/29			
		本流	新八水路		
1	オ オ ク チ バ ス	1 167			特定外来生物
2	カ ダ ヤ シ		5 26-32	48 16-35	特定外来生物
3	カ マ ツ カ	3 108-145			
4	ギ ン ブ ナ		5 35-61		
5	コ ク チ バ ス	2 123-138			特定外来生物
6	ニ ゴ イ	2 225-239			
7	ヌ マ チ チ ブ	9 19-63			
8	ボ ラ	3 138-141			
9	マ ハ ゼ	9 83-140			
10	メ ダ カ		61 14-31	16 15-28	
計		7種類29個体	3種類71個体	2種類64個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて10種類164個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り時々晴れ、気温26.8℃、水温 本流25.2℃、新八水路24.6℃、新八ワンド26.4℃（15時頃測定）

【参加者コメント】

- ・ かなり水位が高くて採集には苦労した。丁寧に手網で探しても僅かに18mmのヌマチチブ1尾のみ。15号台風による出水の影響で高水敷に水が乗った痕跡があったので、小魚が流されたり深所に移動してしまったのかもしれない。ヌマチチブは寄生虫か病気と思われる発赤した部位のある個体が複数見られた。痩せていたのも出水のせいだろう。(YK)
- ・ 午前中から水位が高く、普段浅い所でもかなり投網が打ちにくく、魚が捕まえられないかと思いきや、序盤にオオクチバスが入った。初めてバスを捕まえられたので、外来種の駆除に一役立てて良かった。
午後はさらに水位が高く、いつもより倍の腕力が必要で大変だったが、鍛えられた。(AN)
- ・ 台風15号の強風による倒木を多数確認。特にワンドは水面に倒れこんでおり倒木処理が必要。(SI)

【今後の調査日】 10月14日（月・祝） 11月23日（土・祝） 12月14日（土）
2020年 1月25日（土） 2月23日（日） 3月28日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-267

調査回数 調査日 地点		269			備 考	
		2019/10/14				
		本流（高水敷）	新八水路	新八ワンド		
1	オ イ カ ワ	7 21-91	未調査	未調査		
2	オ オ ク チ バ ス	1 144				特定外来生物
3	カ ダ ヤ シ	1 48				特定外来生物
4	ギ ン ブ ナ	16 40-83				
5	ゲ ン ゴ ロ ウ ブ ナ	6 65-100				
6	ス ゴ モ ロ コ	3 28-39				
7	ニ ゴ イ	3 80-223				
8	ハ ク レ ン	1 123				
9	ボ ラ	4 112-123				
10	メ ダ カ	2 20-22				
11	モ ツ ゴ	1 23				
計		11種類45個体				

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 台風19号通過の2日後、大雨による高水敷冠水状態のため、新八水路そば及び上流側の高水敷にて投網・手網による採集を実施。なお、採集は充分安全を確保した上で、堤防の近くで行なった。（低水路、新八水路、新八ワンド内は調査せず）
- ・ 小雨。気温、水温の計測せず。

【参加者コメント】

- ・ 高水敷まで冠水した川で、しかも雨の中で頑張って投網を打っていた皆さんに敬服する。
いわゆる『濁り掬い』の投網を打つ姿は、堤防上を歩く多数の人々がカメラに収めていた。
いつもなら岸寄りには来ない中型のハクレンやニゴイが浅場で採れたのは、やはり浅くて流れが遅い高水敷上に避難していたからだろう。出水による濁りで水中への透過光が少なかったせいで、特にゲンゴロウブナの体色が淡い銀白色になり、きれいに見えた。（YK）
- ・ 都心で15時に16°C台というたいへん寒い中、半日、投網をなおしていたら、寒さに耐えかねました。（KI）
- ・ 前日昼の3時ごろのピーク時は高水敷の水深が約2メートルあったが、毎時5～10センチ低下し続けた結果、調査当日朝には1メートル以下になり採集作業ができるまでになった。（SI）

【今後の調査日】 11月23日（土・祝） 12月14日（土）
2020年 1月25日（土） 2月23日（日） 3月28日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-268

調査回数 調査日 地点		270			備 考
		2019/11/23			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	3 28-42			
2	カ ダ ヤ シ		18 20-37	48 14-30	特定外来生物
3	ギ ン ブ ナ		21 36-77		
4	コ		3 61-93		
5	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 55			
6	タイリクバラタナゴ		15 16-36		
7	デ メ モ ロ コ	1 46			
8	ド ジ ョ ウ		1 25		
9	ニ ゴ イ	8 73-109			
10	ヌ マ チ チ ブ	41 16-50			
11	ビ リ ン ゴ		1 26		
12	ボ	1 184			
13	マ ハ ゼ	3 110-135			
14	メ ダ カ	1 22		10 15-25	
15	モ ツ ゴ	2 32-36	8 23-40		
計		9種類61個体	7種類67個体	2種類58個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて15種類186個体の魚類が採集されました。
- ・ 雨、気温12.0℃、水温 本流10.7℃、新八水路12.9℃、新八ワンド12.4℃
（12時30分頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 下流の北総線の橋付近に、200羽を超えるカワウの群がいて、近づいたボートに驚いて一斉に飛び立ちました。江戸川でこれまで見たことがない数でした。居着くと魚には打撃かと。
久しぶりの低い水位で、航路近くはかなりの流れがありました。魚採りより安全を重視してください。魚にも流れが速すぎるようで、実際、緩い、岸際の水たまりでたくさん採れました。（KI）
- ・ 投網でなんとか魚が採れた。風も冷たく寒い。秋と冬の間の雨季「サザンカ梅雨」だ。（TH）
- ・ 今までで一番厳しいと思うくらいの悪天候下での調査となった。そのため、午後の調査は取りやめて昼休憩なしで測定となった。（SI）

【今後の調査日】12月14日（土）

2020年 1月25日（土） 2月23日（日） 3月28日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚類出現状況

No.	調査回数 年次 回数・日程 標準和名\地点	1-48	49-106	107-163	164-223	224-235	236-247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270																																																							
		96-00	01-06	06/4-10	2011-15	2016	2017	2018											2019																																																																		
		48回	58回	57回	60回	12回	12回	1.27	2.24	3.24	4.28	5.12	6.9	7.14	8.11	9.29	10.27	11.24	12.22	1.26	2.10	3.23	4.21	5.12	6.22	7.6	8.10	9.29	10.14	11.23																																																							
1	イセゴイ	●	○	○	○	○	○																																																																														
2	ウナギ	○	○	○	○	○	○																																																																														
3	ワカサギ	○	○	○	○	○	○																																																																														
4	アユ	○	○	○	○	○	○																																																																														
5	サケ	○	○	○	○	○	○																																																																														
6	タモロコ	○	○	○	○	○	○																																																																														
7	スゴモロ	○	○	○	○	○	○																																																																														
8	デメロ	○	○	○	○	○	○																																																																														
9	ヒガイ	○	○	○	○	○	○																																																																														
10	ニゴイ	○	○	○	○	○	○																																																																														
11	カマツカ	○	○	○	○	○	○																																																																														
12	ツチフキ	○	○	○	○	○	○																																																																														
13	モツゴ	○	○	○	○	○	○																																																																														
14	マール	○	○	○	○	○	○																																																																														
15	ウグ	○	○	○	○	○	○																																																																														
16	オイカ	○	○	○	○	○	○																																																																														
17	ハス	○	○	○	○	○	○																																																																														
18	ワタ	○	○	○	○	○	○																																																																														
19	ハクレン	○	○	○	○	○	○																																																																														
20	キン	○	○	○	○	○	○																																																																														
21	ギン	○	○	○	○	○	○																																																																														
22	ゲンゴロ	○	○	○	○	○	○																																																																														
23	フナ	○	○	○	○	○	○																																																																														
24	キン	○	○	○	○	○	○																																																																														
25	コイとフナの雑種	○	○	○	○	○	○																																																																														
26	ヤリタナ	○	○	○	○	○	○																																																																														
27	イチモンジ	○	○	○	○	○	○																																																																														
28	アカヒレ	○	○	○	○	○	○																																																																														
29	タイリク	○	○	○	○	○	○																																																																														
30	ドジョウ	○	○	○	○	○	○																																																																														
31	カラドジョウ	○	○	○	○	○	○																																																																														
32	アメリカナマス	○	○	○	○	○	○																																																																														
33	ナマス	○	○	○	○	○	○																																																																														
34	クルマサヨリ	○	○	○	○	○	○																																																																														
35	メダカ	○	○	○	○	○	○																																																																														
36	カダヤシ	○	○	○	○	○	○																																																																														
37	ボラ	○	○	○	○	○	○																																																																														
38	メダ	○	○	○	○	○	○																																																																														
39	カムルチ	○	○	○	○	○	○																																																																														
40	スズキ	○	○	○	○	○	○																																																																														
41	オクチバス	○	○	○	○	○	○																																																																														
42	コクチバス	○	○	○	○	○	○																																																																														
43	ブルギル	○	○	○	○	○	○																																																																														
44	シマイサキ	○	○	○	○	○	○																																																																														
45	ヒラギ	○	○	○	○	○	○																																																																														
46	スマチ	○	○	○	○	○	○																																																																														
47	チチ	○	○	○	○	○	○																																																																														
48	シモフリシマハゼ	○	○	○	○	○	○																																																																														
49	ゴクラクハゼ	○	○	○	○	○	○																																																																														
50	クロダハゼ(※)	○	○	○	○	○	○																																																																														
51	ヨシノボリ	○	○	○	○	○	○																																																																														
52	ピリン	○	○	○	○	○	○																																																																														
53	ウキゴリ	○	○	○	○	○	○																																																																														
54	スミウキゴリ	○	○	○	○	○	○																																																																														
55	ウキゴリ(型不明)	○	○	○	○	○	○																																																																														
56	マハゼ	○	○	○	○	○	○																																																																														
57	アシシロハゼ	○	○	○	○	○	○																																																																														
58	ヒナハゼ	○	○	○	○	○	○																																																																														
地点種類数合計		42	36	40	30	39	27	28	41	23	27	31	11	12	29	11	10	0	5	2	3	5	0	9	5	4	9	4	0	13	5	4	10	2	15	4	2	8	4	4	13	2	2	9	3	6	7	3	1	4	4	2	5	4	1	8	2	1	10	2	0	12	2	2	10	2	4	10	6	2	14	3	1	9	5	2	7	3	2	11	0	0	9	7	2

●初採取 ※:和名がヨシノボリ(橙色型)からクロダハゼに変わりました。

環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237 (直通)

編集レポーター会議を 開催いたしました！

12月17日(火) 編集レポーター会議を行いました。編集レポーターの皆さんに誤字脱字のチェックをしていただき、「水辺のふるさとかつしか」をより一層パワーアップしていけたらと思っております。これからも、皆様のレポートの成果を1冊にまとめ、より多くの区民の方に見ていただけるよう努めてまいります。

「かつしか環境・緑化フェア2020」

展示用パネル作成のボランティア募集について☆

令和2年6月14日(日)に「かつしか環境・緑化フェア2020」を開催いたします。

このイベントに、「自然環境レポーターの活動報告スペース」を設ける予定です。そこで展示用パネルの作成をしていただける方を大募集します!!!

<パネル作成例>

- ★活動の成果
- ★写真
- ★植物、昆虫等のクイズ問題 etc



※皆さんで話し合いながら、楽しんで活動をしていきたいと思っています。
ご参加お待ちしております。活動は3月から5月(月1~2回程度)です。
募集は後日郵送いたしますので、ご協力お願いいたします。

★新ハ水路で魚類調査を行います★



日 時 2020年 1月25日(土)、2月23日(日)、3月28日(土)
午前10時～午後4時ごろ

場 所 江戸川河川敷 寅さん記念館下まで直接お越しください。

持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス

◆詳しくは、HP (<http://shigenoril.jimdo.com/>)

12月7日の自然観察会は残念ながら、気温が低く、雨予報であったため中止とさせていただきました。次回の研修会は2月中旬～3月上旬頃を予定しております。みなさまのご参加お待ちしております。



～冬号でご協力いただいたみなさま～

荒井敏夫さん、Rさん、新井正樹さん、石鍋壽一さん、
K. Nさん、佐々木定治さん、散歩花子さん、高橋雅子さん、
田村ひろ子さん、T. Kさん、中嶋みゑさん、藤並剛さん、
森本龍司さん、弥生さくら草さん、ゆきひめさん、RYUさん、
自主生物調査団(編集:一澤成典さん)

ご協力ありがとうございました☆彡

「水辺のふるさとかつしか」第311号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第263号)

令和元年12月27日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。